

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	島根県立図書館	氏名	梶谷 妙
派遣先 団体名	NPO法人バリアフリー・シネマ&ライフ・ネットワーク		
<p>① 研修の日時 平成27年6月から12月までの第2・第4土曜日、第2・第4日曜日のうち10日間 (別表参照)</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 同法人では著作権切れとなったパブリックドメイン映画を活用し、障がい者や高齢者などより多くの人を楽しめるよう映画のバリアフリー化を行っている。今年度は、映画「緑園の天使」を対象に、字幕作成、音声ガイド作成、吹き替え音声作成、効果音の挿入などを行った。 研修では、主に以下の業務を行った。 ・吹き替え業務(声優として吹き替えを担当、他の声優の練習の補助) ・編集業務の補助(吹き替え音声や効果音の調整、字幕の校正) ・完成した映画の上映会の補助(受付等)</p> <p>③ 研修の感想 (研修の全般的な感想、各団体での活動の意義や協働に対する感想(研修前後における意識の変化)等について記入してください。) 映画のバリアフリー化事業には幅広い年齢層の方が参加しており、世代を超えた協働が行われている。声優志望者や、映像や音声の編集に興味のある若者にとっては、将来に向けて各々のスキルを磨くことができる貴重な場となっている。また、一人ではなく複数名で声優練習をすることで、集団の中で自分を客観視しつつ自分の役割を全うする責任感を身につけることもできる。 バリアフリー映画の普及のために、完成した作品を社会に還元する場をさらに増やすことが望まれる。また、この事業を今後も継続するためには、組織・体制の確立が不可欠と思われる。 理解しやすい文言を使用した字幕や音声ガイドの作成、音声ガイドと吹き替え音声が重ならないような編集、声だけで情景が伝わるような話し方など、映画のバリアフリー化には留意すべき点が多い。これらをクリアしながら一つの作品を完成させるために、非常に多くの人に関わっていることを学んだ。また、図書館員としてこの事業に携わったことで、映画の設定の考証に図書館の資料を利用して役立てたほか、図書館サービスにおける合理的配慮について思考の幅を広げるきっかけとなった。</p> <p>④ その他特記事項 (※今後の研修実施に当たっての改善点、留意しておくべきことなどがあれば記入してください。)</p>			

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成28年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。

■研修の日程

日程	内容	場所
6月28日(日)	声優練習および声優練習補助	松江市市民活動センター
7月12日(日)	声優練習および声優練習補助	松江市市民活動センター
7月26日(日)	字幕の校正、声優練習および声優練習補助	松江市市民活動センター
8月9日(日)	声優練習および声優練習補助	松江市市民活動センター
8月23日(日)	声優練習および声優練習補助	松江市市民活動センター
9月12日(土)	声優練習および声優練習補助	サン・アビリティーズいずも
11月28日(土)	出雲市民ボランティアウィークにおける上映会の補助	出雲市総合ボランティアセンター
12月13日(日)	声優練習および声優練習補助	松江市市民活動センター
12月20日(日)	声優練習および声優練習補助	松江市市民活動センター

■研修の様子



▲映像を見ながら声優練習(サンレイクにて)



▲吹き替えの収録(サンレイクにて)